



カトリーヌ10世
Catherine X

PROFILE

グローバル化が進む
社交界事情にも通じる。
密かな趣味は人間観察とコスプレ。
好きな飲み物はモンラッシュ。
日本ではほとんど知られていない、
ある小国の女王とのウワサも?

今

04
Lifestyle

男たちよ
目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

「時間の庭」の
深い意味に
目覚めなさい

年のメットガラはドレスコードは「時間の庭」でした。元ネタはJ・G・バラードの小説「時間の庭」というSFディストピア小説です。音楽やアートに囲まれる伯爵夫妻の美の誓が、遠方から近づいてくる野蠻な群衆に蹂躪されるという物語。伯爵は「時の花を摘む」ことで時間をわずかに戻すことはできるのですが、花の数にも限りがあり、最終的に美の誓が崩壊することは避けられません。ドレスコードを設定した主催者アナ・ウインターが意図したかどうかはわかりませんが、この物語は、メットガラに対する皮肉にもなっています。美と誓の誓にこもるセレブ階級が、環境破壊や戦争など、い

ずれ訪れる破

壊を知りながら「時の花を摘む」、つまりドレスアップして楽しみ、少しだけ時間を戻しているという構図に見えてきますから。実際、当日はメットガラ会場に向かってパレスチナ連帯アモが行進していました。

元ネタの物語をここまで読み込んだセレブがいたかと振り返ると、バルマンの「砂ドレス」を纏ったタイラでしようか。手には砂時計を持ち、カラダの自由が利かないので階段では男性スタッフに抱えられて移動していました。タイムリミットがあることを知りつつ機能よりも美を優先するというアピールが、「時間の庭」を連想させました。ほかのセレブの多くは能天気な「庭」のイメージから花柄で贅を競っていました。

この物語は、人の一生のたとえ話として読むこともできますね。遠方からやってくる終焉にどう向き合うか？

「時の花を摘む」ことで少しだけ時間を戻し、「生きている」実感のある時間を延ばすことはできる。あなたにとっての「時の花」は何ですか？ 私たちの一生も実は「時間の庭」である。目覚めなさい。